

令和7年度地域創生総合支援事業(サポート事業)一覧

○ 一般枠

番号	新規・継続	事業名	事業主体	事業概要	実施時期
1	継続3	しもごろーカードを利用した新しい軽トラ市	下郷町商工会	人口減少や少子高齢化の進行により、町のインフラである商店街等の機能低下が課題となっている下郷町において、商工会と町が連携して実施するポイントカードシステム「しもごろーカード」を活用した軽トラ市及び加盟店ポイントラリーを開催し、商店街機能の維持及び地域活力の向上を図る。	R7.4.1～R8.3.31
2	継続3	大学生サミット2026inただみ	森林の里応援団	人口減少・少子高齢化や交流人口の減少が課題となっている南会津地域の地域活性化を図るため、大学生と連携して、現地調査、先進地視察、ワークショップ等を通じた地域課題の掘り起こしやその解決に向けた方策を検討する。	R7.4.1～R8.3.15
4	継続2	自然資源を活用した地域創生事業(開墾再活性化プロジェクト)	伊南青年会	南会津町伊南地域では、豊かな自然資源を活かした野外体験プログラムの提供等が行われていたが、人口流出・高齢化により継続が困難となり、プログラムのフィールドとしていた拠点の環境も悪化している。当地域で生まれ育った青年層が主体となって改めて環境整備や体験プログラムの造成を行い、関係・交流人口の増加および自然資源の保全・継承を図る。	R7.7.22～R8.3.30
5	新規	香りと味覚の南会津ウェルネスプロジェクト	南会津ウェルネス推進協議会	「アロマと健康」、「食」、「歴史」などの様々な地域資源を組み合わせたウォーキングイベントを開催し、健康意識の向上、資源の高付加価値化や関係人口の創出を図る。	R7.6.23～R8.3.30
6	新規	未来につなぐ里山プロジェクト	合同会社南郷草舎	若年層の流出や地域経済の縮小等の影響で、地域社会の維持が困難になり、地域の知恵や技術が失われつつある南郷地区において、地域の知恵や知識を記録、活用することで経済循環を生み出し、文化継承や地域の持続可能な仕組みづくりにつなげる。	R7.4.22～R8.3.30

○ 市町村枠

番号	新規・継続	事業名	事業主体	事業概要	備考
1	継続3	「自然首都・只見」モンベルと連携したエコツーリズム推進事業	只見町	只見町では「自然首都・只見」を宣言し、豊かな自然を軸とした誘客促進を目指しているが、自然を活かしたアクティビティのガイド不足や高齢化が課題となっている。そこで、町と包括連携協定を結ぶ(株)モンベルとの連携のもと、町内のガイド養成及び資格取得のサポートを行い、秋頃に只見町アウトドアモニターツアーを実施する。	R7.5.30～R8.2.28
2	継続3	チームビルディングツーリズム事業	南会津町	震災や新型コロナウイルスの影響により観光客が減少している南会津町において、新たな施策として地域資源を活用した「企業研修」を誘致することで、交流・関係人口の創出を図る。また、将来的には企業研修に参加した企業と町内事業者の新たな繋がりから、販路拡大や共同事業の開発等も視野に入れる。	R7.4.17～R8.3.31
3	継続2	ここに住んでよかった・住んでみたいと思えるまちづくり事業	下郷町	人口減少や生活スタイルの変化等で、人々のつながりや地域愛が希薄化しているほか、移住希望者は、第一に下郷町を知らない、生活がイメージできない課題がある。下郷町の魅力を体感でき、住民と移住希望者が交流できる場を創出し、地域への愛着を育むことで、下郷町に住み続けたいという住民の意識を醸成し、また移住後の生活をイメージしやすくし、移住促進を図るほか、「人財」の掘り起こしに繋げる。	廃止
4	継続2	ビギナー戦略推進事業	檜枝岐村	尾瀬国立公園の入山者数は3年連続で増加しているが過去4番目の低さであり、入山者の高齢化も一因。環境省が策定した「尾瀬ファンベース戦略」の方針に沿いながら、特にビギナー戦略に重点を置いてPR・受入体制整備の2軸で施策を展開し、村の主幹産業である観光業の維持に努める。	R7.4.1～R8.3.31

○ 過疎・中山間地域活性化枠「集落等活性化事業」

番号	新規・継続	事業名	事業主体	事業概要	備考
1	継続 3	みんなで心豊かに、安心して住み続けられる集落(むら)づくり事業	布沢区	人口減少と地域経済の衰退が課題になっている布沢区において、地域資源を活かした生業おこしを図るため、「布沢資源加工所」及び地区産農産物等を活用した「ふざわ食堂」の運営及び施設の充実を行う。また、二地域居住者・移住人口の増加を図るため、山村の暮らしを体験できる施設の運営を行う。	R7.4.1～R8.3.13

○ 過疎・中山間地域活性化枠「収益事業(スタートアップ支援事業)」

番号	新規・継続	事業名	事業主体	事業概要	備考
1	継続 3	ヒツジ等で里山づくり&地域活性化事業	只見里山づくり協議会	只見町はR4.10.1に全線で運転を再開したJR只見線の沿線地域であり、観光誘客の促進が期待されているが、沿線には耕作放棄地が広がり、景観を損なっている。そこで、ヒツジによる景観整備を実施するとともに、小学校と連携した動物とのふれあい事業を実施し、児童の動物愛護精神の醸成に寄与する。	R7.4.1～R8.3.23
2	新規	交流人口創出につながる旅行商品の造成事業	㈱只見町観光公社 只見町インフォメーションセンター	令和8年度のDCや八十里越え道路開通に向け、只見町内のガイド人材を効果的に活用し、ガイドプログラムを開発するとともにモニターツアー(体験)を実施し、観光客のおもてなし体制を整える。	R7.5.1～R8.3.31
3	新規	地場産品を活用したレストラン経営事業	トラットリア・ブランシュ	下郷町で和食以外の地元野菜などを使用した洋食(イタリアン料理)を提供することで差別化を図り、地元食材の素晴らしさや魅力を伝えるほか、交流の場として活用する。	R7.4.1～R8.3.31
4	新規	まちなか空き店舗の複合利用による、新たな仕事の創出と関係・交流人口の活性化	合同会社SCOP	南会津町のまちなかにある空き店舗をリノベーションして、新たなヒト・モノ・コトが集う複合型施設を開業して関係・交流人口の活性化を図る。	R7.7.1～R8.3.31